

第 8 回 現地活動報告 (日程 2011.5.20～5.22)

株式会社危機管理教育研究所
NPO 国境なき技師団

記

1. 日程	平成 23 年 5 月 20 日 (金) ～22 日 (日)
2. 実施	(敬称略) 危機管理教育研究所、NPO 法人国境なき技師団、横浜市鶴見区 J C 簡氏、 他
3. 行程	今回は東北新幹線を利用して東京から一ノ関へ。 一ノ関からレンタカーを使用しました。 参考までに (レンタカー (ティーダ) 2 日間 18,000 円+ガソリン代) 宿 泊 : 大船渡市下富岡公民館
4. 訪問先	大船渡市役所、生活福祉部、教育委員会学校教育課、総務課 大船渡消防署、陸前高田市建設課、陸前高田市米崎仮設住宅 大船渡サポートネットワーク・センター 陸前高田市 米崎小学校避難所・仮設住宅 住田町 木造仮設住宅建設 (有) 吉田工務店 代表取締役
5. 目的	○大船渡、陸前高田両地区において子どもの居場所建設に関わり、 1) 市役所、教育委員会との提案協議 2) 公地での建設候補地調査 3) 民間用地探索および地主への打診 4) 仮設住宅 (工事中) および地元建設業の調査 ○市行政アシストの技術者派遣に関わり、 1) 市役所人事課、建設課訪問 提案説明と現状調査

被災地の写真 ; 津波の高さを示す象徴的な 1 枚 ; 陸前高田市内にて



住居ビルの 4 階まで津波は襲っている。

○ 居場所の建築とその用地について；

- 1) 大船渡では 14 小学校のうち、2 校が津波壊、8 中学校のうち 1 校が津波壊。
- 2) 被災児が学校放課後 その居場所は各学校の悩みであり、必要性は今後高まる。
- 3) 浸水エリアには家を建てない等、建築規制はこれから決まる。
- 4) 復興計画、土地利用計画がない段階では、建設地を公地に求めるのは非常に難しい。



赤崎小学校（全壊）

http://www.youtube.com/watch?v=ECmK_Oqn60E

（YouTube の上空映像に赤崎小が見える）



大船渡赤崎小近くの駐車場は公地でただ一つの候補地



民地で有力な建設候補地は猪川町 250 坪の私有地。猪川小学校近い。



現在の仮設住宅建設費（プレハブ）は 60 万円／坪ですが、住田町の町営仮設住宅は木材利用の地元業者づくり。30 万円／坪。（仮設住宅はいずれも 9 坪）。単棟なので他人の気配を感じずに暮らせます。

*大船渡市役所（高台にあり被害なし）



*陸前高田市役所（仮設）



▼被災施設一覧表

小学校	全壊	赤崎小学校 越喜来小学校
	一部損壊	大船渡小学校 綾里小学校 崎浜小学校 吉浜小学校
中学校	全壊	赤崎中学校
	一部損壊	第一中学校 末崎中学校 越喜来中学校
市役所等	大船渡市役所三陸支所 大船渡消防署三陸分署綾里分遣所	
医療施設	越喜来診療所	
交通施設	大船渡駅前交流広場	
スポーツ施設	大船渡市民体育館	
公園・グラウンド	盛川河川敷公園 堀川グラウンド 茶屋前緑地公園	



大船渡市の浸水区域

○死亡者・行方不明者

5月6日現在、死亡者・行方不明者459人。
震災直後には、市民の2割が避難所で生活。

▼人的被害一覧表

人口	40,769人	H23.2月末住民基本台帳
死亡者数	306人(0.8%)	H23.5.6 現在
行方不明者数	153人(0.4%)	H23.5.6 現在
市外への一時移動	178人(0.4%)	H23.5.6 現在
避難者数	8,437人(20.0%)	H23.3.14 状況
	1,939人(5.0%)	H23.5.9 現在

・浸水面積は8km²
・浸水面積の約5割は建物用地

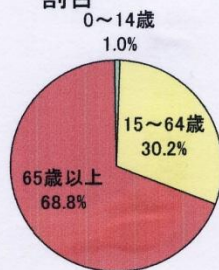
○高齢者の被災率が高い

被災者の約7割を高齢者が占める。

▼各年代における被災人口割合

年齢区分	人口 ①	被災人口 ②	年代別被災率 ②/①
0~14	4,776	4	0.1
15~64	23,697	127	0.5
65以上	12,616	289	2.3
	41,089 ※注	420	1.0

▼年代別被災人口割合



【注】総数459人との差
死亡者…身元不明遺体数19人、他市町に住所がある11人
行方不明者…他市町に住所があると思われるが、他市町との突合せが済んでいない6人、住所が特定できていない3人

▼土地利用別浸水面積

	面積
建物用地	4km ²
農地	2km ²
河川、湖沼	1km ²
その他用地	1km ²
浸水面積合計	8km ²
市域面積	323km ²